

第3回例会 シニア研修会

開催日 2025年9月19日(金)
開催場所 札幌南ゴルフクラブ 駒丘コース

競技の条件

1. ゴルフ規則

2019年度(財)日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技のローカルルールを適用する。

2. 使用クラブの規格

『ゴルフ規則 4.1a 適合クラブ』を適用する。(ゴルフ規則 25p 参照)

3. 使用球の規格

『ゴルフ規則 4.2a 適合球』を適用する。(ゴルフ規則 28p 参照)

4. ホールとホールの間での練習禁止

『ゴルフ規則 5.5 ホールとホールの間での練習禁止』(ゴルフ規則 34p 参照)は次のように修正する。

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。(違反の罰:2打)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ペナリティエリアは、レッドペナリティエリアのみとし赤杭又は赤線でその限界を標示する。
3. 修理地は青杭又は白線にて標示する。
4. No.3、No.6、No.7、No.15 ホールにあるレッドペナリティエリアに球が入ったか、ほぼ確実な場合は規則 17.1 に基づく処置、又は追加の選択肢として、1打罰のもとに球を指定ドロップ区域にドロップすることが出来る。
5. 樹木保護のための施設は樹木の一部とみなす。
6. 電磁誘導カート用の二本レールはその二本のレールの全幅をもって、1つのカート道路とみなす。球がこのカート道路上にある場合は、あるがままの状態プレーすることは出来ず、プレーヤーは規則 16.1 に基づく救済を受けなければならない。
7. カート道路上にあった球が、電磁誘導カートにより動かされた場合は無罰で球をもとの位置へ戻して上記6を適用する。
8. No.17 ホールにおいて、ティーショットの球が左右の崖下に行った場合、アンプレアブルを宣言すれば、特設ティー(黄色)から第4打目でプレーすることができる。

注意事項

1. 競技の条件またはローカルルールに追加、変更のあるときは、競技用カード交付場所付近に掲示して告示する。
2. パー3のホールに限り、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーイングエリアまで来ている場合、パッティンググリーン上にある球の位置をマークして全て拾い上げ、後続組プレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーイングエリアからプレーさせること。
3. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当に空けないよう注意すること。
4. コロナ対策として、ピンは抜かず立ってままのプレーを推奨いたします。